

## 地域の とりくみ

# じゃわめき隊プロジェクトが 「ゆった堂」と「土間るしえ2020」を開催



じゃわめき隊プロジェクトは、市の市民活動応援事業を活用し、地域の活性化と高校生の人材育成を目的として、「地域を学びの場にしていくこと」、「土間ホールでの活性化」などについて高校生と共に取り組んでいる市民団体です。

### 子どもたちの遊び場「ゆった堂」

2月7日に開催された「ゆった堂」では、子どもたちが家庭以外に安心して過ごせる場所を作り、保護者が息抜きできる居心地の良い場所を提供するため、市役所土間ホールに輪投げなどのおもちゃを用意し、高校生が子どもたちと楽しく遊びました。



参加した保護者の方は「お菓子もいただいたし、とても良かった。今後もこのような機会を設けてほしい」と楽しく過ごす子どもを見ながら話しました。

また、松井彩音さん（五所川原商業高校2年）は「初めての開催で不安だったが、子どもたちが走り回ったりして楽しんでくれたので、うれしかった」と笑顔で話しました。

### 高校生の取り組みを発表「土間るしえ2020」

2月14日、土間ホールで開催された「土間るしえ2020」では、5つの高校生グループが行った地域活性化の取り組みについて、成果を発表しました。

### 五所川原第一高等学校

- ▷高校生と地域との関わりに関する意識調査、津鉄の旅オリジナルパンフレット作成（協力店：珈琲詩人、隠れ家カフェ カシエット、赤い屋根の喫茶店 駅舎）
- ▷アップルカスタードおやき（協力店：浅草焼五所川原エルム店）
- ▷地域を繋ぐ企業インタビュー動画作成（協力店：あかぎ食堂、そば処義平）

### 五所川原商業高等学校

- ▷赤〜いりんごを使用したキャラメルと紅茶のケーキ「赤〜ずきん」（協力店：自然菓子ある）
- ▷子どもが安心して過ごせる場所づくり「ゆった堂」



発表の最後に、赤城咲良さん（五所川原第一高校3年）は「コロナ禍で思うような活動ができなかったが、今後も高校生と地域との関わりを増やし、交流人口・関係人口の増加に繋げていきたい」と取り組みのまとめを話しました。



## 高等看護学院卒業証書授与式が行われました



卒業証書を受け取る秋田さん

3月6日、中央公民館で高等看護学院の卒業証書授与式が行われました。新型コロナウイルスの影響による実習の制限などを乗り越えた20名の卒業生が、地域医療への貢献を誓いました。卒業生代表として卒業証書を受け取った秋田瞳さんは「コロナ禍の中、実習を受け入れてくれた医療機関や患者さんに、本当に感謝しています。患者さんの気持ちに寄り添い、その人が過ごしやすい看護を提供していきたいです」と目標を話しました。

同学院は、令和2年度より各種学校から専修学校に移行しました。専修学校化したことで卒業後、大学へ編入し、医師の補助として高度な医療行為を行う「特定看護師」など、ほかの資格の取得を目指すことが可能となりました。